



頑張った一年間

桂川小学校 校長 藤田季弘

【学力面】

平成24年度から、本校では、道徳教育の指導に力を入れています。

信頼・友情や郷土愛などの価値について毎週1時間『道徳の時間』で学習しています。年間最低でも35時間は道徳の学習をしますが、一年間積み上げた子どもたちの力を観ていただくため、2月2日(土)に土曜授業として、学習発表会をしました。

平成23年度は、国語の一環として長文の暗記を発表しましたが、今回は、長文+道徳的価値の発表と位置づけました。

発表後の保護者のアンケートは、「子どもたちの考えが分かり、大人として考えさせられました。」等々、大変好評でした。

道徳の学習は、『心を耕す時間』といわれ、様々な価値について、子どもたちの心の中に『価値の

VOL.59



種をまく』時間です。将来、様々な場面で、子ども自身で自分の心の引き出しから、より尊い価値を選択し、正しい行いができることを期待しています。

今回のような、学校が力を入れていいる内容を、保護者の方はもちろん、地域の方にも知ってもらうことは、とても大切なことだと実感しました。

【体力面】

体力面では、12月の桂川小スポコン大会を目指して、馬跳びや縄跳びを全学級頑張りました。12月には、たくさんの方の保護者の方にも観ていただきました。

また、今年も福岡県スポコン広場(県大会)に、高学年から6年3組が、中学年から3年3組が筑豊地区代表として出場し、どちらも3位の成績でした。

少しずつ、そして着実に前進している今、今年度も全職員で『徹底』していきます。

一年を振り返って

桂川東小学校 校長 諫山秀代

桂川東小学校の「めざす子ども像」をもとに、平成24年度をふり返ってみます。

【人と人とのかわりを大切にしよう】

赤・青・黄の3グループに分けた縦割り活動は、異学年のかわりの中で人間関係を学ぶよい機会になります。特に、6年生はお手本になり、リーダーになる経験が相手を大事にする心や言動が育ち、ぐんと大人になりました。

校区には『ひまわり』アンビシャス広場があります。地域の方々が木曜日放課後と土曜日に様々な活動をしてくださっています。学校の活動ではありませんが、異年齢の方々とのかわりの中で子どもを伸ばしていただけるありがたい場です。そして、そこでも子どもはぐんと伸びています。

【頑張り抜く心と体を持った子ども】

体力向上は、すべての活動の基礎になります。日常の体育学習、運動会、マラソン大会、なわとび大会などで鍛えてきました。

マラソン(持久走)は、決められた距離をきつなくてもあきらめないで走りとおさなくてはなりません。子どもたちは、頑張り抜き全員が完走しました。ぐんと力がつきました。

【ついでに学習も】

「学校は勉強するところ」が桂川東小学校の合言葉。学力向上に向けて様々な取組をしています。中心になるのは授業。とても多い学習内容ですが、落ち着いた学習で、集中して学習に向かっています。朝の15分間学習や家庭学習にも、はじめに取り組む子がほとんどです。



2月に全学年の学力テストを行いました。算数は毎年1ポイント伸びて、全国平均とほぼ同じになっています。国語はこれまでと同じポイントです。さらに鍛えていきます。

今年度も、子どもをよりよく伸ばすために、家庭・地域と連携しながら進めていきます。ご協力よろしく願います。